

PERSONZ × Airis

共演



めいこの練習員（以下） まず最初に PERSONZ と Airis が「リポするよ」になっちゃったのを教えてくれた。渡邊 目黒区中央中学校の PTA 会長をしていただくが、PERSONZ であるということとは表に出していませんでした。そこで児童館の館長さんに「音楽やってるんだよね？」と声を掛けられて素性を明かしたところ、ティーンズ・フェスタという行事で、ぜひ何かやってくださいと言われました。何をしようか悩んでいたところ、「うせせなら中高生と一緒に何か出来たら」と思い、都立目黒高等学校に出向いたという Airis を紹介されました。

めいこのように練習しましたか？

渡邊 近所のスタジオで 2 時間ほど一緒に練習しました。

めい 今日曲を選んだ理由を教えてください。

JILL 今 MC [TCOLORS] の 5 曲は PERSONZ がデビューした時の曲で、私たちがまだ 20 代で高校生のファンが多かったです。この曲は学生でハ



9 Airis 都立目黒高等学校2年生、女子4人バンド

ンドをしていた頃の楽しい時代を歌詞にしたもので、やるなら現役の女子高校生と一緒に！と思い、選びました。

め 高校生とセッションをした感想を教えてください。

JILL 私と高校生の頃に女子バンドを組んでいたのが、彼女たちとステージに立った時、タイムトリップをするような感覚でした。彼女たちのように音楽が好きで、みんな音楽を作っているという姿はとても良いと思いました。これからは彼女達の成長が楽しみで、親心のようなものが芽生えました。

渡邊 僕は、最初から親心でした。最初はちゃんとみんな出来るのか心配でした。僕はベシストなので、特にベースの山崎さんを心配していました。この曲はベースをたくさん弾かなくてはならないので。あとは楽しく出来ればいいかなと。山崎さんのベースは今日が一番よく弾けていて、お父さんとしては嬉しいです！(笑)

め Airis のみなさんにお聞きします。プロのミュージシャンとセッションをしてみても、いかがでしたか？

平林 ギター 貴重な機会でした。楽しく良い経験になりました。

山崎 (ベース) PERSONZ とコラボすることになったことを親に話したら「すごい、あの PERSONZ とやるの!」とすごく驚いていました。そんな方々とやらせてもらうのは緊張しました。しかもベシストの渡邊さんの前でベースを弾くのはプレッシャーもあったけど、本番は上手く出来たのでよかったです。

山口 (ギター・コーラス) これまで PERSONZ のライブに行ったり音楽

を聴いたりしていたので、今日の曲の「TCOLORS」をまさか自分が演るとは思っていませんでした。練習も一回で心配だったけど、PERSONZ と Airis で 1 つの曲が出来て嬉しかったです。バンドをやっていたよかったなと思いました。

網田 (ドラム) Airis という普通の高校生バンドがプロの方とやることになって「うまやうまやうま、足を引っ張らないようにしなきゃ」と思っていたけれど、「JILL さんが演奏中に「楽しもうよ」と語りかけるように目配せしてくれたので「下手でもいいや、下手なりにやってみよう」と思えました。本番はとても楽しくできました。

め 最後に彼女達のようにバンドや音楽活動をしている中高生に一言お願いします。

JILL 30 年同じく同じメンバーでやっているの、彼女達と一緒にライブをしたことはとても新鮮でした。今は高校生でも楽器を持ちたいバンドをしたりしている人が多いので、何か自分出来ることがあれば支援したいと思いました。私も今回いい刺激をもらいました。

渡邊 自分が高校生の時は田舎に住んでいました。人前でやる機会がそんなになかったんで、初めて人前で演奏した時のことを思い出しました。PTA 会長をやっていた縁でこのように中高生とセッションすることとなりましたが、いろんな人と出会える機会はとても大切だと思いました。

JILL 児童館に無料でバンド練習出来る場所があったり、今回の「ティーンズ・フェスタ」のようにバンドやダンスなど表現できる場があるのは素晴らしいです。地域のみならず中高生を応援し、支えていることがわかりました。1 年に 1 度のこの盛り上がりを感じて欲しいと思います！